

1:25,000地形図で見る学区内の移り変わり①……今から約100年前のようす

陸地測量部 1917年(大正6年)8月30日発行「谷田貝」「下館」より<縮小>

集落は、田川と鬼怒川の自然堤防上に、「新川」「高橋」「下高橋」「金山」「上福良」「中福良」「中島」「請地」の文字が見えます。「中福良」の集落の中に(福良小)学校と(絹村)役場の地図記号が見えます。土地利用では、田川に沿って水田が多く見られますが、東部の中島周辺には桑畑が見られます。鬼怒川には、まだ橋が架けられてなく、「中島渡」の文字が見えます。太さから見た村内の主要道路は、田川の西側に結城から北に延びる江戸時代の脇街道でもあった日光東往還(関宿多功道)=現在の一般県道146号線(結城石橋線)と、結城から絹村を通して東に延びる街道=現在の一般県道204号線(結城二宮線)の2本であることがわかります。

